

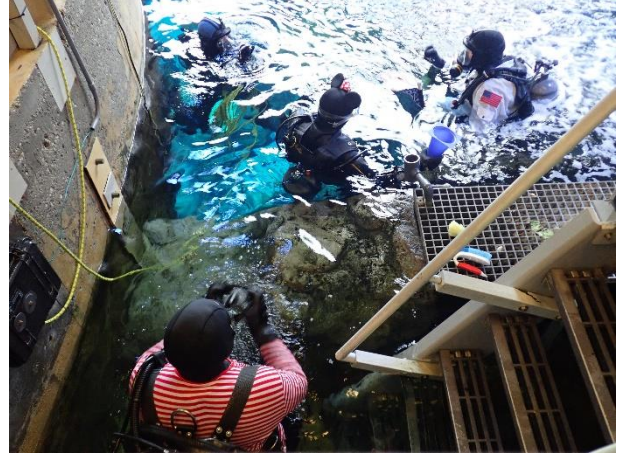
2019年10月29日(火)

【太平洋水族館 Aqueriumof the Pacific】

玄関前で集合写真を撮りました。



巨大な水槽を見学しました。フィルターを通して水を循環させているという説明がありました。サメの卵にさわらせてもらいました。日本の食材の「ノリ」を投げ入れると多くの魚がよってきました。



Behind the Scenes Tour では、お二人の館員の方から約1時間の説明を受けました。



女性の館員の方から、タツノオトシゴなど、海洋生物の説明を受けました。



2019年10月30日(水)

【ロサンゼルス郡立自然史博物館】



化石・恐竜の化石・鉱物・動物の剥製など、多くの展示を見学しました。スミソニアン博物館に次いで、2番目に展示物が多いということです。



2019年10月30日(水)

【カリフォルニア科学センター】

実物の Endeavor の展示があるカリフォルニア科学センターで、耐熱タイルなどについて、ボランティアの館員の説明を受けました。



地震学研究所の2階には USGS のプレスセンターがあり、大きな地震が起こると、ここで記者会見が行われ、全米に放送されるということです。



【ウイルソン天文台】

Caltech での昼食の後、標高 1700m にあるウイルソン天文台を訪問しました。

ボランティアの方の案内で、ドームの内部を見学しました。ハッブルが赤方偏移を観察し、宇宙が膨張していることを突き止めた 2.5m の望遠鏡の説明を受けました。遠い銀河ほど、遠ざかるスピードが大きいということです。

ドーム内には、ハッブルさんの写真が飾ってありました。

2019年10月31日(木)

【Caltech (カリフォルニア工科大学) 地震学研究所】

所員の Margaret Vinci さんから、カリフォルニアの地震についての講義を受けました。



全世界の地震計の情報がここに集められています。原爆の実験なども記録されるそうです。

講義の後、Caltech のカフェテリアで昼食をとりました。ちょうどハローウィンで、着ぐるみを着た方からキャンディーをいただきました。



標高 1700m の天文台の敷地はかなり寒かったです。別の施設では、Steve さんが太陽の観測をし、黒点を毎日記録されておられました。訪問日には黒点は見られませんでした。

また、鉄のスペクトルの分裂（ゼーマン効果）の度合いから、太陽の磁場の強さが分かるという説明を受けました。

2019年11月1日（金）

【NASA JPL（ジェット推進研究所）】

スペースクラフトを組み立てている施設の見学を行いました。



続いて、本校生徒の課題研究の発表です。Enrico Piazza さんにもご参加いただき、質問をしてくださいました。



シンポジウム終了後、カフェテリアで昼食をとり、惑星探査機の管制センターを見学しました。

最も古い探査機がボイジャーで、40年間通信をしているとのことです。

24時間通信が可能となるよう、米国・スペイン・オーストラリアの3か所に通信基地を設けているとのことです。

今年は、あいにくショップが2か所とも閉店になっており、JPLグッズが買えなかったのが残念でした。

NASAで働く女性科学者の Hanii Takahashi さんから、陸上と海上での雨粒の大きさの違いについての説明を受けました。陸上の方が、上昇気流が強いため、大きな雨粒になるということを、シミュレーション部門の協力を得て突き止めたというお話でした。



堂々と発表することができました。また、質問にも的確に答えることができました。



最後に、エスコートしてくださった福森一郎博士、Annie Richardson さん、Enrico Piazza さんと共にメンバー全員で記念撮影をしました。

